

平成28年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

星川地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

星川地域ケアプラザのエリア内中心には相鉄線が走り、星川駅・天王町駅がある他、幹線道路の国道16号線があるためバスの本数も多く、利便性に優れています。区役所や図書館、保育所、福祉関連施設などが多く集まっています。松原商店街やイオン、コーナン、いなげやなど買い物をする場所も充実しており、暮らしやすい地域です。エリア内には介護サービス事業所が数多くあり、介護が必要になった際もスムーズな利用につながりました。

一方で、国道16号線があるため交通量が多く、子育て世代には不安要素の一つと言えます。又、勾配の急な山坂のある地域は、特に高齢者にとって移動が困難となっています。天王町駅周辺では、帷子川の水害の発生が危惧されており、大雨や地震に伴う津波などの際には、高齢者などの災害弱者の速やかな避難が課題となりました。自治会・町内会館のような地域の活動拠点は、畳敷きや階段のある構造となっており、足腰が弱ると参加しにくくなる現状です。

【中央連合町内会】

(ア)川辺町は戸建てが少なくマンション世帯が多い地域です。若い層が多く、高齢化率も中央地区で最も低い19.8%です。自治会組織の無いマンションが数か所あり、全体の自治会加入率が低くなっています。

特に市営川辺町住宅は高齢者の転入も多く高齢化率は高いですが、老人クラブが無い状況となっています。また、定期的に集まる場もない状況があり、孤独死の防止や見守りネットワークの構築が課題となっており、自治会役員と居場所作りをすすめました。

(イ)峰岡町1～2丁目は、車両が入り込めないような道幅の狭い箇所が多数あります。坂の中腹のエリアの高齢者は階段昇降が必須で、足腰が弱ると外出が困難となっています。峰岡町1丁目では町内会へ出張し、地域のキャラバンメイトと協力し認知症サポーター養成講座を開催しました。峰岡町2丁目では、個別の地域ケア会議をこれまで2回実施しました。地域の課題共有や対応を検討するため、自治会の高齢者福祉対策部会へ参加をし、包括レベルの地域ケア会議開催の足がかりを作りました。

(ウ)宮田町は生活圏が横浜駅方面へ向いており、ケアプラザまで徒歩10分以上かかる状況があります。その為、ケアプラザの事業参加に結びついていません。又、高齢化率が高く山坂も多い状況です。高齢者にとって足を運びやすい自治会町内会館での催しも少ない状況でした。そのため、地域の催しや集まりに参加し顔の見える関係作りをすすめました。又、自治会町内会役員や老人クラブ役員と話し合いをして一緒に新たな活動の立ち上げにつながるよう、介護予防教室を開催しました。

(エ)天王町団地は外国籍の住民が多く、集いの場が少ないため、住民同士のコミュニケーションがとりづらい状況です。過去には孤独死もあり、住民同士のつながりや支えあいの必要性を感じています。個別の地域ケア会議を2回開催し、地域の課題を共有することで、自助・互助について考えるきっかけをつくりました。

(オ)地域と共に第3期地域福祉保健計画地区別計画の目標である、「笑顔で声を掛け合い、心通い合う活気あふれる安全で安心な街」を推進していくことが必要だと考え、できる限り地域行事やお祭りに参加しました。また、計画の担い手を広げるため、地区社会福祉協議会に積極的に働きかけ、保健活動推進員や障がい者支

援施設の参加につなげることができました。

【岩間地区連合町内会（星川地区）】

- (ア) 星川一丁目は防災意識が高く、緊急連絡先や要援護者世帯の支援体制を整備する等の自治会活動が盛んです。毎月定期的に開催しているひまわりの会は、参加者の高齢化が進んでいますので、課題となる介護予防や権利擁護（消費者被害の注意啓発等）について民生委員と内容を検討しながら、情報を提供しました。又、民生委員など地域のキーパーソンと見守り活動や地域課題について、情報共有や話し合いを行いました。
- (イ) 星川二丁目は高齢者に限らず住民が集える場が少ないので、民生委員がサロンの開催など居場所づくりを必要でした。気軽に参加でき、介護予防に取り組めるようなサロン立ち上げを支援しました。
- (ウ) 星川三丁目は民生委員が主体となり、住民が集える居場所作りを進めサロンが立ち上がりました。定期開催や参加者定着に課題があったため、活動が継続できるように他地域のサロンの情報提供を行ったり、住民に関心のある内容を一緒に考え支援しました。
- (エ) 明神台地区は戸建てが少なく市営住宅と UR 住宅が立ち並んでいます。勾配の急な坂の上にある為、足腰が弱ると高齢者は、敷地以外への外出が困難な状況です。定期開催されている「サロンひだまり」へ毎月出張し、住民同士のつながりや健康づくり、介護予防の必要性を理解してもらえるように働きかけを行いました。地域に向けて、三自治会と共催で介護技術講座を行いました。自身の介護予防について考えるだけでなく、見守りの意識の底上げ、担い手づくりにつなげることができました。顔の見える関係づくりをすすめながら、地域事業やシニアボランティア登録の案内をし、担い手発掘や育成支援を行いました。
- (オ) 「地域で支えあう仕組みづくり」を目指し、見守りツールを活用した認知症の方や高齢者などを支える見守り活動への取り組みを地域住民と一緒にすすめるため、話し合いを重ねました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- (ア) 複合施設であり、地域の様々な方が利用されるので、安全確保と設備の正常作動を最優先として管理に努めるとともに館内の清潔保持に努めました。
- (イ) 設備の保守点検については、専門業者に委託のうえ不具合の早期発見に努め、適切な修繕を行って総合的に管理を行い事故防止に努めました。
- (ウ) 区内の授産施設に、植栽管理と草取り、周囲の清掃を委託(年 10 回作業)して、環境保全と緑化に努めました。
- (エ) 貸室の日常清掃については、使用後に利用団体が清掃を行い、その後の点検を職員が行いました。また、貸室を含め所内を委託業者が毎日清掃し、その後、職員が目視し作業終了報告書の内容を確認しました。合わせて、毎月委託業者により全館の定期清掃を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

- (ア) 労務、経理等の事務処理に関して、法人本部と連携して業務や役割の分担を図りながら効率的に行いました。
- (イ) 不要な照明をこまめに消し、職員が長時間離席する際にはパソコンの電源を落とすことを徹底しました。空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。
- (ウ) 整理整頓をすすめ、収納の工夫やインデックスの使用など必要書類がすぐ見つけられ業務が効率的に行えるようルール周知と徹底を図りました。

ウ 苦情受付体制について

- (ア) 法人で苦情解決規則を定めており、それに基づいてケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、お客様からのご意見、ご要望、苦情等に対応しました。
- (イ) お客様が苦情やご意見を述べやすいように、ご意見ダイヤルの利用方法と指定管理者名及び指定期間を掲示し情報提供しました。また、職員の目を気にせず投函しやすいように、2階通路にご意見箱を設置しました。対応結果は受付ロビーに掲示し、お客様に周知しました。
- (ウ) 法人では公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員を設置し、苦情解決に向けて体制を整備し、取り組みを行いました。
- (エ) 法人のケアプラザ所長で組織するサービス向上委員会を毎月開催し、受け付けた内容を共有するとともに、原因、改善策について検討し、事業所に持ち帰って今後の業務に生かせるよう所内会議で報告しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- (ア) 地震、火災等の災害時の備えとして、非常災害・事故緊急時対応・再発防止マニュアルや、災害時の業務継続計画のためのBCPを見直し、更新しました。
- (イ) かるがも全館で行う年2回の防災訓練を通し、緊急時に各施設職員がマニュアルに沿った対応ができるよう災害時に備えました。
- (ウ) 急病時には看護職員を中心として適切に対応できるようにAEDを設置しました。また、消防職員による指導で、全職員対象にAEDの操作方法を含む救命救急研修を実施しました。
- (エ) 特別避難場所であることを地域に周知するとともに、地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所として、応急備蓄物資や防災対策マニュアルを整備しました。

オ 事故防止への取組について

- (ア)介護サービスの提供中に起こったヒヤリハットを、全体会議や朝夕のミーティングの場において報告し、注意喚起するとともに事例検討会を重ね、再発防止に努めました。
- (イ)所内で法人内のサービス向上課から発信される注意喚起を回覧し共有するなど、法人内の他事業所での事故事例も検討し、問題点の洗い出しを行うとともに再発防止策を検討し、意識改善を図りました。
- (ウ)毎月、産業医出席のもと衛生委員会を開催し、労働環境について検討を重ね改善策の検討と対策を協議し、改善に向けて行動しました。
- (エ)デイサービスの送迎車両にドライブレコーダーを取り付けており、事故時の映像や会話を検証して対策を検討し、全車のスタッフに周知して安全運転に心がけました。
- (オ)ドライバーに対して、毎回の運転直前に呼気のアルコールチェック、健康状態の確認、運転免許証の確認を義務付けました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- (ア)法人で個人情報保護規程を定めており、ケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。法人本部で実施される個人情報保護・情報セキュリティ研修を職員が受講するとともに、所内でも個人情報保護の研修を実施し、啓発に努めました。
- (イ)個人情報の含まれる契約書や記録類は、施錠できるロッカーなどで保管し、どうしても携帯する必要がある場合には、紛失や情報漏えいのないよう、最小限の情報のみを法人指定のカバンに入れて斜め掛けし、携帯することを徹底しました。
- (ウ)個人情報の含まれる書類が、同時に印刷をかけたパンフレットなどに混入しないように印刷機にセキュリティ設定を行い、印刷物が自動的に出てくることのないようにしました。
- (エ)情報をパソコン本体に保存せず、法人のサーバーに保存することでパソコンの盗難や不正アクセスがあっても情報が流出しないよう設定を行いました。また、パソコンはワイヤーで固定し、盗難防止に努めました。磁気媒体は必要最低限のものを使用し、鍵のかかるキャビネットに格納し、出し入れの際に記録を残し管理しました。
- (オ)業務用携帯電話は暗証番号でダイヤルロックし、端末を万が一紛失した場合にも保存内容を遠隔操作で消去できるよう契約を行いました。

キ 情報公開への取組について

- (ア)情報公開の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開する体制を整えました。
- (イ)ホームページや広報紙を活用して各種事業に関する情報や貸し部屋の空き情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 人権啓発への取組について

- (ア)法人として毎年、様々な差別問題や弱者保護をテーマにして全職員を対象に人権研修に取り組みました。受講者が未受講者に対して伝達研修を行うことにより、人権の啓発を行い、職員やスタッフの意識向上を図りました。
- (イ)児童保護の観点から、ケアプラザエリアごとに行われている要保護児童地域対策協議会において、情報共有とともに構成団体それぞれができることを話し合い、児童虐待防止に取り組みました。
- (ウ)相談ケースの中で虐待が疑われるケースについては、区役所などの関係機関と慎重に協議し対応しました。また、介護者による虐待を未然に防ぐために介護者教室や介護者のつどいを事業展開し、介護者支援を行いました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- (ア)省エネルギー対策、ごみの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行いました。コピー用紙の裏面使用を励行し、資源ごみの分別収集に協力しました。また、植栽の管理等を通して環境保全を行いました。
- (イ)電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止に努めました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	2名
主任ケアマネジャー	1名
保健師	1名
介護支援専門員	3名

《目標》

- (ア)一人ひとりの心身状況や環境に応じて、ご本人と計画作成者がともに目標に向けて取り組むことを大切にし、自立支援へ向けた対応をしました。
- (イ)お客様の選択権を十分に尊重し、安心と信頼を得られるケアプランを作成しました。
- (ウ)介護保険サービスだけでなく、地域のインフォーマルサービスもケアプランに位置付けるよう心掛けました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

交通費：通常のサービス提供地域を超える訪問・出張する必要がある場合には、公共交通機関を利用した運賃分をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

自立支援の視点によるケアプラン作成に努め、関係機関との情報共有や連携を図り支援しました。民生委員や地域の各種団体との連携を図りました。また、地域のインフォーマルサービスなど、地域資源を取り入れたケアプラン作成を行いました。迅速かつ、お客様のニーズに適切なケアプラン作成を心掛けました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
191	191	187	196	188	188
10月	11月	12月	1月	2月	3月
191	188	192	185	189	186

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員	常勤兼務	1名
	常勤専従	2名
	非常勤兼務	3名

《目標》

- (ア)適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、総合的かつ効果的に提供されるように、公正中立な立場に立って居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所の調整を行いました。
- (イ)事業の実施にあたっては、関係機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等のインフォーマルサービスと綿密な連携を図り、総合的なサービス調整に努めました。
- (ウ)専門的知識を高めるための研修に積極的に取り組み、特定事業所としての質の向上に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供地域を超える訪問、出張をする必要がある場合は、公共交通機関を利用の場合、公共交通機関の運賃分をいただきました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- (ア)ケアプラザ内のケアマネステーションという特徴を生かし、福祉総合相談窓口と密に連携し、エリア内の様々な関係機関とネットワークを構築することで、多職種が協働した支援を目指し、地域に根差した身近でかつ信頼される事業所と認められるように努めました。
- (イ)特定事業所として、24時間体制でお客様の相談に随時対応できるように努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
111	114	117	119	124	125
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	123	129	131	132	136

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

(ア)お客様が出来るだけその居宅において、社会的孤立感を感じずに自立した日常生活を営めるよう、又ご家族の精神的・身体的負担を解消し、生活機能の維持・向上を目指し、入浴・排泄・食事等日常生活の介護及び機能訓練を行いました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図ることで、お客様やご家族に対し、安心で安全な、社会交流の場となるサービスを提供することが出来ました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
● (要介護1)	704円	1,407円
● (要介護2)	831円	1,662円
● (要介護3)	963円	1,926円
● (要介護4)	1,095円	2,189円
● (要介護5)	1,227円	2,453円
● 食費負担	700円	
● サービス提供体制強化加算 I 2	12円	24円
● 入浴加算	54円	108円
● 個別機能訓練 II 加算	60円	120円
● 口腔機能向上加算	161円	322円
● 若年性認知症利用者加算	65円	129円
● 送迎減算(片道)	-51円	-101円
● おむつ代	大 211円 小 183円	
● キャンセル料(食材料費)	500円	
● 介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1000分の40に相当する	

単位数の料金を加算

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	5名
介護職員	常勤兼務	5名
	非常勤兼務	22名
機能訓練指導員	非常勤兼務	5名

《目標》

(ア)自立支援をお手伝いする為に、ご自身でできる事は危険のないよう配慮し、行って頂く事が出来ました。レクリエーションのプログラムはご自身で興味のある事やお好きな事を選択して頂き、積極的に取り組んで頂く事が出来ました。
(イ)多職種連携を心掛け、お客様の変化に気づいた時に、ケアマネジャーやご家族に連絡をし、速やかに対処することが出来ました。
(ウ)ボランティアの方や地域の方とも、レクリエーションや日々の活動の中で、交流して頂く事が出来ました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(ア)個別機能訓練Ⅱを実施し、その方にあった目標を立てる事で、積極的に訓練に参加して頂く事が出来ました。
(イ)個別レクリエーションでは、フラワーアレンジメントや野菜の栽培等、お一人ではできない体験をして頂きました。体験を通して、成長を見守りながら、作品作りをする楽しさも経験して頂く事が出来ました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
601	636	648	650	639	604
10月	11月	12月	1月	2月	3月
658	639	619	614	630	663

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

(ア)お客様が、今の生活を出来るだけ長く健康に続けていく事が出来るよう、自立支援を基に入浴・食事・排泄等の介助を行いました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービスを提供する事が出来ました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
● (要支援1・週1回程度)	1,766円	3,531円
● (要支援2・週1回程度)	1,766円	3,531円
● (要支援2・週2回程度)	3,621円	7,241円
● サービス提供体制強化加算		
● (要支援1・週1回程度)	52円	103円
● (要支援2・週1回程度)	52円	103円
● (要支援2・週2回程度)	103円	206円
● 若年性認知症利用者受入加算	258円	515円
● 運動器機能向上	242円	322円
● 食費負担	700円	
● キャンセル料(食材料費)	500円	
● おむつ代	大 211円 小 183円	
● 介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1000分の40に相当する単位数の料金を加算	

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 10:00 ~ 15:30 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	5名
介護職員	常勤兼務	5名
	非常勤兼務	22名
機能訓練指導員	非常勤兼務	5名

《目標》

制度改正の「医療から介護へ」、「施設から在宅へ」の方向を踏まえ、社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」を基本とし、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

自分でできる事は自分で行うこと(自助)を原則に、地域の互助の推進、その上で共助、それでも対応できない場合には公助という考え方に沿って支援することができました。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	130	119	112	137	123
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	125	113	100	102	115

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

(ア)認知症の方が地域で暮らしていく中で今の状態を出来るだけ長く保ち、孤立しないで安心して生活が出来るように、またご家族の精神的・身体的負担を解消する為に必要な日常生活のお世話(入浴・排泄・食事)と機能訓練を提供しました。

(イ)事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス事業者・ボランティア団体との連携を図り、お客様やご家族に対し、安心・安全で、社会交流の場となるようなサービスを提供しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

	1割負担分	2割負担分
● (要介護1)	1,072円	2,144円
● (要介護2)	1,188円	2,376円
● (要介護3)	1,305円	2,609円
● (要介護4)	1,422円	2,844円
● (要介護5)	1,539円	3,077円
● サービス提供体制強化加算 I イ	20円	39円
● 個別機能訓練	30円	59円
● 入浴介助	55円	109円
● 若年性認知症受入	66円	131円
● 送迎減算(片道)	-51円	
● 食費負担	700円	
● キャンセル料(食材料費)	500円	
● おむつ代	大 211円 小 183円	
● 介護職員処遇改善加算	一ヵ月のご利用単位数の1000分の68に相当する単位数の料金を加算	

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30 ~ 16:30 (半角で入力 例 9:00~15:00)

《職員体制》

管理者	常勤兼務	1名
生活相談員	常勤兼務	3名
看護職員	非常勤兼務	5名
介護職員	常勤兼務	5名
	非常勤兼務	22名
機能訓練指導員	非常勤兼務	5名

《目標》

脳の機能が変化していくことで、生き方や周りの人との繋がり、環境が変わっていくことで暮らしのありようが変わります。認知症の方が出来る限りの能力を発揮し、その人らしい生活が出来るように支援することができました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

(ア)認知症のうち、およそ半数はアルツハイマー型認知症です。次に多いのがレビー小体型認知症、そして血管性認知症と続きます。これらは「三大認知症」といわれ、全体の約85%を占めています。残りの15%の認知症の中には、治るタイプの認知症などあります。【正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫脳腫瘍、甲状腺機能低下症、栄養障害、薬物やアルコールに関するものなど】専門的な視野から一人ひとりに合った支援をさせていただき、できるだけご自宅で過ごして頂けるよう支援しました。

(イ)お客様だけでなく介護されるご家族とのコミュニケーションを図り、介護負担の軽減も図れるよう支援することができました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
206	205	208	208	208	188
10月	11月	12月	1月	2月	3月
210	208	184	175	162	168

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- ア. 所長を含めた六職種で相談票を回覧し、相談ケースの共有、連携して対応にあたりました。
- イ. 所長を含めた六職種が積極的に地域行事や会合に参加し、毎月定例の六職種会議で共有、地域の課題把握、支援の方向を検討しました。特にケアプラザから遠い宮田町は問題が深刻化してから相談に至るケースが多かったので、日頃から信頼関係を作り、気軽に相談につなげられるよう、積極的に地域行事へ参加して顔の見える関係構築に努めました。
- ウ. 食事会や地域行事は六職種で共有、調整し積極的に参加し、地域情報の把握に努めました。
- エ. 定期的に地域ケア会議を開催することができました。ケースに関しても同様のケースだけでなく、脳血管疾患の方などについても開催し、地域の方とのつながりをもつことができました。
- オ. 子育てや障がい分野の相談についても、独自の相談票を作成し、対応にあたっています。また「子育て広場」や「かるがも☆こころのリズム教室」など、事業でも積極的に参加者の相談に対応し、必要に応じ区と連携しました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携(生活支援体制整備事業も含む)

- ア. 地区社協、民児協の会合、また第3期地域保健福祉計画「ほっとなまちづくり」の会議や懇談会に毎回参加し、地域の支援者と関係構築に努め、情報提供を図るなど、地域支援に積極的に取り組みました。また、地域行事には所内連携して参加し、顔の見える関係作りを行い、地域の課題把握に努め、出張講座やサロンを開催するなど、地域のニーズにあった支援を行いました。
- イ. 毎月開催の所長を含む六職種会議では地域へ出向いて得た情報をもとに情報交換を行い、地域アセスメントシートを充実させ、課題の抽出を行い、支援の検討を行いました。
- ウ. 認知症当事者家族支援のため、地域住民とともに「ネーブルの会～認知症を考える会」を立ち上げ、認知症カフェ開催に至ることができました。また会のメンバーを中心とした認知症キャラバンメイトの活動を積極的に支援し、連携してサポーター養成講座を複数回実施しました。オリジナルの小学生用台本を作成して寸劇に取り組むなど、今後に向けて充実した活動ができました。

3 職員体制・育成

- ア. 相談受付担当とした窓口当番の職員を常時配置する事で、相談のために来館した方の対応をしました。包括職員が不在の場合でも、介護支援専門員や他部門の職員が初期対応し、その後包括職員につなげて的確な対応を行いました。また、貸室や事業対応についても、変更や新規の取り組みなどの際には所内周知を図り、ケアプラザの職員としてだれでも対応できるよう情報共有に努めました。
- イ. 法人本部のサービス向上課と連携し、コンプライアンスの遵守と個人情報等のリスクマネジメントを実施しました。
- ウ. 外部研修にも積極的に参加し、参加できなかった職員には伝達研修や報告書にての周知を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ア. 地区社協、ほっとなまちづくり推進チーム、地区懇談会等には積極的に参加し、各地区の第3期保健福祉計画実現に向け情報提供・助言等行いました。また主要行事では1メンバーとしてプログラムの進行に協力し、連携を図ることができました。
- イ. エリア別子育て支援連絡会には事務局の一員として関わり、連絡会の充実した活動に向けて積極的に取り組みました。「ほっしいーのわいわいフェスティバル」では、エリアの連携事業として今年もちびっこ広場を開催し、連絡会の周知を図るとともに、新しく加わった2施設を含めて役割分担を行い、連携を強化できました。またプログラムの一部を子育て支援拠点「こころ」参加者のクラブ活動の発表とすることで、子育て中のお母さんたちの活動やつながりを後押しすることができました。月1回開催している子育て広場では、主任児童委員を始めとした2人2施設の連絡会のメンバーにゲストスピーカーをお願い、地域資源を生かした広場を3回展開することができました。
- ウ. ほっとフレンズ実行委員会では副委員長として関わり、区内ケアプラザ、施設、社協、区役所と連携して地域の学齢障がい児の余暇支援事業を実施しました（3回中、2回は1月3月に実施予定）。継続して関わることで担当間の連携がスムーズになり、ボランティアのリピーターが増えるなどプログラム運営も充実しています。
- エ. 昨年度より連携を強化してきた保健活動推進員とウォーキングの共催事業「地元を歩こう」全3回を実施することができました。
- オ. 認知症理解に思いのある民生委員児童委員を始めとした地域の有志と認知症サポーター養成講座を開催、また参加者に働きかけて話し合いを重ねた結果「ネーブルの会～みんなで認知症を考える会」を発足。星川地域エリアにおける認知症カフェを開催、またメンバーからキャラバンメイトも多数生まれ、サポーター養成講座に積極的に取り組むなど、認知症当事者家族を支援する受け皿作りができました。

5 区行政との協働

- ア. 地域アセスメントシートで把握した地域情報や抽出された課題を岩間地区、中央地区の支援チームと共有し、第3期地域福祉保健計画の実現に向け、積極的な地域支援を行いました。
- イ. 「かるがも☆こころのリズム教室」を毎月定期的で開催し、こども家庭支援課と連携しながら、発達に心配のある子どもと保護者を支援しました。
- ウ. 認知症見守りネットワーク普及啓発媒体作成作業部会に参加をして、地域の認知症見守りネットワーク構築が図れる様に継続して協働することができました。
- エ. 「ひとり暮らし高齢者地域で見守り推進事業」に積極的に関わり、民生委員児童委員と連携し、訪問や地域活動に参加しました。また、ケアマネと民生委員児童委員との情報交換会を行い、連携を深めることができました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ア. 地域行事や会合には積極的に参加し、得た情報を地域アセスメントシートに反映し、所内共有を図り地域支援にあたりました。
- イ. 生活支援コーディネーターと連携し、地域情報の冊子作りに取り組んでおり、必要に応じ随時情報提供しました。
- ウ. ケアプラザの事業や取り組みについては、かるがも通信やホームページを活用して情報発信に努めています。町内会自治会に加入していない子育て世代には、ほどびよメールや子育て支援拠点「こっころ」へ出張して、周知に努めました。学齢期の子どもを持つ親世代へ向けた発信にインターネットのより効果的な活用方法を模索していきます。
- エ. 今年度はネーブルの会発足により、地域に根差した活動を効果的に行うことができました。メンバーと共に働きかけ、懸案だった峯小学校でのサポーター養成講座を実現することができました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ア. 貸室団体の交流会では、ケアプラザの役割や地区センター等他施設との違いを説明し、地域福祉、社会貢献活動について理解を促し、活動の場の情報提供を行いました。また、ボランティアポイント登録研修会を主催し、元気なシニアのいきがい作りや活動の場を提供しました。
- イ. 広報紙かるがも通信や掲示板に貸室登録団体の活動紹介を行い、活動周知を支援しました。
- ウ. ミニデイやほっしいーのわいわいフェスティバルなど、事業の中に団体の特技を活かした活動を取り入れることで、団体のスキルアップややりがい、活動の活発化につながりました。

3 自主企画事業

- ア. 近隣のスポーツ施設メガロスの協力により、ニーズの高かった高齢者向けの安価な体操教室を新規事業として立ち上げました。
- イ. 貸室団体の特技を活かした社会貢献事業として、共催事業を2月に実施します。フラワーアレンジメントを通して、子育て世代と地域のシニア世代に交流の機会を提供しました。
- ウ. 保健活動推進員と共催で、体力に自信のない人でも参加できるウォーキング事業を3回実施しました。共催できたため、体力測定や地元の公園遊具を利用した体力作りを効果的に実施でき、また今までケアプラザを利用したことのない人たちの参加を多数得ることができました。
- エ. 体操教室に参加している元気な高齢者へ働きかけ、子ども寺子屋や子育て広場、また、「かるがも☆こっころのリズム教室」では、子どもの発達に悩みを抱えた母親支援を行う「かるがも☆こっころのリズム教室」また、サロンほしかわに新しく若い世代が参加できる「布おもちゃ」作りのコーナーを立ち上げ、交流の機会を提供できました。ほどびよメールなどを活用し、若い世代に向け、子育て情報を発信しました。
- オ. 昨年度のフレンドサポート事業で協力していただいたフラダンスの団体と、障がい児余暇支援事業を2回実施しました。ほっしいーのわいわいフェスティバルで発表する時間を設け、参加者に社会参加の機会としても効果的でした。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ア. 子育て広場には地域人材を活用し、子どもの見守りにシニアボランティアが協力することで異世代交流の機会を提供しました。また手遊びや読み聞かせを行っている子育てグループや、シニアの個人ボランティアの協力を得、参加者に楽しんでもらっていると同時に、担い手のいきがい作りにつながりました。
- イ. シニアボランティアポイント登録研修会を実施し、現在活動している人のモチベーションアップ、またこれから活動する人へ情報提供、活動の場所の提供につながりました。
- ウ. わいわいフェスティバルでは、事業参加者によるあみものや折紙の体験コーナーを実施、またイベント広場の司会進行を貸室団体に担ってもらうなど、地域住民の方々が主役となるおまつりとなりました。
- エ. 生活支援を行っている男助っ人隊の周知や受付など、活動を側面から支援しました。
- オ. ボランティア活動希望者には、ケアプラザで受け入れるだけでなく、どんなことを希望しているのか聞き取り、ボランティアセンターへの登録を薦めたり、またボランティアセンターから紹介のあった方をサロンほしかわの講師に迎え、手作りおもちゃのコーナー新設するなど、よい連携ができました。
- カ. 広報紙かるがも通信を通じて、ボランティア活動の様子を紹介しました。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

- ア. 地域のさまざまな相談に対応し、適切な機関へつなげていくことや情報提供ができました。個別訪問等を行い、的確な状況把握と情報提供を行うことができました。他エリアの住民からの相談も少なくないため、適切な機関へつなげていきました。
- イ. 町別の相談件数や内容から、六職種で情報共有を図り、地域の方に相談、協力を得ながら、川辺町市営住宅や星川二丁目で住民が集えて情報交換できる場づくりをする機会をつくるなど、事業を展開することができました。町別の相談数や相談内容の分析は、今後も考察を続けていきます。

地域包括支援ネットワークの構築

- ア. 六職種で連携しアセスメントシートの作成を進めました。そこで集約した情報と個別相談においての情報を合わせ見えてきた課題は、地域住民が集い、活動している場所がない川辺町市営住宅や星川二丁目、宮田町において、相談が多いことが判りました。そこで、生活支援コーディネーターと包括職員、自治会長や民生委員と協働し、9月から12月にかけて合計8回の介護普及啓発事業を展開し、住民が集えて情報交換できる場づくりをする機会をつくりました。宮田町においては1月と3月に事業展開を予定しています。また、介護保険制度や介護技術に関するニーズは多く、区役所、福祉用具取扱い業者、包括職員で協働し、町内会館やケアプラザ内で講座を展開し普及啓発に努めました。
- イ. 居場所作りを進める為、生活支援コーディネーターと包括職員、自治会長や民生委員と協働し、打ち合わせを重ね、アンケートを作成し、住民から直接ニーズの聞き取りを行いました。そのアンケートを基にサロンの立ち上げや運営について検討しています。また、軌道に乗っているサロンを運営している担い手（民生委員）が、これからサロンを立ち上げようとしている担い手と情報共有や意見交換ができ、立ち上げが進むように話し合いの場を設け、必要なことを助言し、調整を図れるよう努めました。

実態把握

- ア. 六職種で連携しアセスメントシートの作成を継続し、個別相談でのケースと合わせて課題を検討した結果、地域住民が集える場所がない川辺町市営住宅や星川2丁目において、生活支援コーディネーターと包括職員、自治会長や民生委員と協働し、9月から12月にかけて合計8回の介護普及啓発事業を展開することとなりました。また、ケアプラザから遠く位置する宮田町においても、情報共有し支え合える居場所づくりについてのニーズがあり、1月と3月に事業展開を予定しています。また、介護保険制度や介護技術に関するニーズは多く、区役所、福祉用具取扱い業者、包括職員で協働し、町内会館やケアプラザ内で講座を展開し普及啓発に努めました。
- 2月にも、明神台地域の住民を対象に介護技術講座を開催します。

2 権利擁護

権利擁護

- ア. 講座開催に関して、川辺町住宅ほっとクラブにて、平成29年1月と3月に2回に分けて葬式や墓のことに関する講座を開催します。
- イ. ケアマネジャーから成年後見制度の必要性の相談を受け、区役所とも連携を図りながら、訪問等を行い状況把握に努めました。必要性の見極めを行い、適当な支援につなげていきました。
- ウ. 情報コーナーへ、国民生活センター発行の見守り新鮮情報を掲示し、詐欺や消費者被害について広く注意啓発をしました。
星川1丁目サロンでは、民生委員と協力し、詐欺防止のための寸劇を披露し注意啓発を行いました。その他にも、地域住民の集いの場へ出向いた時には情報提供をして注意啓発を行いました。

高齢者虐待

- ア. 男性介護者のつどいは奇数月、ホッとする会は偶数月に、継続して開催しました。介護者がリフレッシュでき、同じ立場同士で労い、励まし合う機会を定期的に作ることができ、虐待予防の普及啓発ができました。
介護者支援講座を3回開催しました。1回目：介護技術、2回目：簡単調理、3回目：住環境整備というテーマで行いました。事前の広報が遅れてしまったことなどもあり、各回とも募集人数に達しませんでした。参加者からは勉強になった、今後活かしていきたいなどの声がありました。
- イ. 10月開催の合同ケアマネ連絡会では、高齢者虐待の早期発見の感度を高めることを目的とした事例検討を行いました。また、虐待ケースに対するアセスメントの視点について、ツールとなる虐待アセスメントシートを作成し、提示しました。日頃の関わりの中から情報収集の必要性を伝えることができました。
横浜市高齢者虐待防止指針の改訂に伴い、区役所、他の地域ケアプラザとともに、デイサービス連絡会や訪問介護事業所連絡会にて講座を行いました。虐待の早期発見・通報の必要性を伝えることができました。
- ウ. 個別のケースについては、区役所や関係機関と相談や報告、情報共有を行いました。また、区のミーティング等で適宜、方向性の確認をしました。同行訪問も交えながら、経過観察を継続しました。

認知症

- ア. 地域ケアプラザの開催を8月に実施。年2回の開催を予定しており、来年3月にも実施予定。他にも平沼高校・峯小学校・ふるた歯科・ゆいまある・峰岡1丁目町内会・女性団体協議会と、学校や地域・各種団体と幅広く実施をしました。開催に際してキャラバンメイトの方々と協働して実施しました。峯小学校の寸劇に際しては、キャラバンメイトの方々が、オリジナルの脚本を作成し実施しました。
- イ. 認知症サポーター養成講座の受講者のボランティア活動希望者やキャラバンメイトと協働して、ネーブルの会を立ち上げ、認知症サロン（ネーブル倶楽部）へ向けた打合せを重ね、現在2回実施。今後も定期的な開催へ向けて、随時話合いの場を設けて行きます。
- ウ. 地域から要請があった際に助言や提案ができる様に、法人内の先行実施している地域ケアプラザへ現状の困りごとなどを確認しながら進めていきました。

3 介護予防マネジメント

介護予防ケアマネジメント力

- ア. 介護予防対象者（要支援）の担当者会議には包括職員で可能な限り参加し、地域情報提供し、介護予防事業を案内し、介護予防の視点をケアプランへ反映させられるように支援しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ア. 中央地区民児協・星川地区民児協と五職種より一人は必ず参加。一人暮らし高齢者など、気になるケースの相談を受付、情報共有を図るなど連携強化に努めました。
民生委員のバス旅行研修や親睦会への参加依頼があり、参加をする事により関係構築の強化を図りました。
- イ. 明神台サロンひだまり開催に合わせて、明神台地区の民生委員と地域ケアマネジャーの懇談会を実施。地域における社会資源の情報提供や、顔の見える関係を作り連携方法の確認などを行いました。

医療・介護の連携推進支援

- ア. エリア内の医療機関へ広報紙を、8月・1月以外の月に持参しました。未設置の医療機関に対して、依頼文を貼付して広報紙と委託部門のチラシを持参。10箇所へ持参して、5箇所の医療機関より設置可能な返事がありました。今後も地域ケアプラザの周知拡大へ向けて、未設置の医療機関や新設された医療機関への広報紙設置を依頼して行きます。
- イ. 常盤台地域ケアプラザと共催にて7月に多職種連携会議を実施。医師・薬剤師・歯科医師・ケアマネ・訪問介護・訪問看護・通所介護・福祉用具・社協・区役所と合計83名と、昨年度より10名以上多い参加がありました。アンケート結果より何度か多職種連携会議に参加し、顔の見える関係が作れていると感じたなどの回答がありました。また、開催内容について良かったと9割以上の回答がありました。区内合同での開催では医師・薬剤師・歯科医師・ケアマネ・訪問介護・訪問看護・通所介護・福祉用具・施設関係者・区・社協・ケアプラザと、総勢202名の参加がありました。アンケート結果より他職種の異なる視点での意見が聞けて参考になったなどの回答がありました。
- ウ. 地域ケア会議開催に際して現段階において4回実施中、医師または薬剤師の参加が3回ありました。今後の開催予定となっている地域ケア会議でも、医療機関が参加予定となっております。

ケアマネジャー支援

- ア. 3職種で連携をしてサービス担当者会議へ参加をしました。また、インフォーマル情報などの持参をして、積極的に事業所訪問を行いました。困難事例ケースなどの相談時には同行訪問を行い、問題解決に向けた支援を実施しました。
昨年度よりもケアマネジャーからの相談件数が増加傾向にあります。
- イ. 区内主任ケアマネジャーと共催にて7月・8月・1月・3月を除く月に、合同ケアマネ連絡会を開催しました。また、新任ケアマネジャー向けに9月から12月

- まで4回コースで実施しました。
- ウ. ほどがやケアマネットの役員会・研修に参加しました。また、開催場所の確保や提供を行ないました。
 - エ. 町内など少人数単位での民生委員と、地域の社会資源を併せた勉強会の場を、生活支援コーディネーターと協働しながら今後も実施をしていきます。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

- ア. 個別ケース地域ケア会議を、現在まで4回開催しました。今年度中にこれから2回の開催を予定しております。参加者について医師や薬剤師・民生委員や地域住民、かるがもの会・高次脳機能障害センター・司法書士と様々な職種に参加をしてもらい実施ができました。
地域ケア会議開催に際して、区役所・社協・包括と開催前に事例提出者と事前打ち合わせを実施。また、開催後には事前打ち合わせと同じメンバーによる振り返りを実施しました。
- イ. 個別ケース地域ケア会議開催に伴う事例提供を依頼に際して、エリア内の居宅介護支援事業所へ地域ケア会議概要説明の訪問を実施しました。

介護予防事業

介護予防事業

- ア. 川辺町住宅や星川二丁目について、自治会館や町内会館で9月～12月に毎月1回合計8回の介護普及啓発事業を展開しました。今後も定期的で開催していくことで、活動拠点（サロン）の立ち上げにつながるように、生活支援コーディネーターと協力しながら、自治会長や役員、民生委員と打ち合わせを幾度も重ね、支援しています。川辺町住宅と星川二丁目共に活動拠点として立ち上がり、来年1月に試行予定となっています。宮田町についても同様に打ち合わせを重ね、来年1月と3月に町内会館にて事業展開を予定し、その後、発展できるように進めています。
- イ. 明神台サロンひだまりには毎月1回、星川三丁目サロンはなみずきには活動月（6月、8月、10月）に包括職員または生活支援コーディネーターが必ず参加し、脳トレや介護予防となる体操を実施し、地域で活用できる情報を提供し、活動が継続できるように支援しました。
- ウ. 明神台ひまわりクラブ、星川ノルディックについて、きらりシニア塾を進めておりますが、今年度中は難しく、次年度以降も継続して認定を進めていきます。年度末までに、天王町で毎日ラジオ体操を実施しているグループおよび宮田町町内会で、定期的にグランドゴルフを実施しているグループがきらりシニア塾認定されるよう進めています。
- エ. 川辺町ほっと倶楽部（10月度11名）、星川一丁目ひまわりの会（11月度28名、明神台サロンひだまり（10月度20名）に出向き、脳血管疾患の予防や対策の講座を行い、啓発に努めました。

生活支援体制整備事業

(ア) ニーズ・資源の把握・分析、資源情報リストの作成

・各地域でどのような地域活動が行われているのか、把握するために足を運び、情報収集を進め、地域マップを作成しました。日頃からご高齢の方々がいきいきと活動している様子を確認でき、担い手の方々や参加者との顔の見える関係作りも進めることができました。

(イ) 圏域レベルの協議体の設置・開催

・星川地区で見守りや高齢者の居場所作りについて話合える場として、協議体を2回開催しました。

(ウ) 圏域レベルの目標・取組事項について

・地域住民と地域課題に気づいたり、現状を一緒に共有することを目標にし、地域に合わせた方法で機会作りをし、課題抽出に取り組みました。

・生活支援や介護予防の充実が進むよう、地域課題を抱えている地域に対しては、地域住民と協議を重ねて、住民主体の助け合い活動立ち上げの支援をしました。

平成28年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名：星川地域ケアプラザ

平成28年4月1日～平成29年3月31日
(単位：千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護 ・ 第1号通所介護	生活支援体制 整備事業	認知症対応 型通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	15,739	26,542	151					5,338	
	介護保険収入				6,018	23,876	80,245	7,620		36,525
	その他									
	介護予防ケアマネジメント費	0	0	0	4,973	0	0	0	0	0
	認定調査	0	0	0	0	549	0	0	0	0
	自販機設置手数料	79	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	378	124	0	4		374	0	0	2
収入合計(A)	16,196	26,666	151	10,995	24,425	80,619	7,620	5,338	36,527	
支出	人件費	10,995	25,053	0	3,283	24,958	53,104		4,589	21,751
	事務費	1,179	1,662	0	5,335	1,089	4,460			1,610
	事業費	1,201	594	151	223	310	7,516		105	2,356
	管理費	3,309	879	0	0	0	6,177			1,601
	その他					0	846			1,713
	消費税	880	0	0	0	0	0		0	0
	拠点区間繰り入	0	0	0	2,126	0	11,342		644	7,496
外部委託分	0	0	0	0	0	0		0	0	
支出合計(B)	17,564	28,188	151	10,967	26,357	83,445		5,338	36,527	
収支 (A)－(B)	-1,368	-1,522	0	28	-1,932	4,794		0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※ 指定管理料提案額をベースに作成してください。

平成28年度 自主事業収支報告書

注：*1:フレンドサポート事業補助金のため支出なし。

*2:共催団体による事業のため、支出なし。

事業名	①主な対象者	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入				その他
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	
サロンほしかわ	地域住民	103,691	4,791	98,900	0	46,691	57,000
	1,410人						
	0~200						
シニア体操	高齢者	0	0	0	0	0	0
	1,224人						
	0						
子育て広場	乳幼児と保護者	0	0	0	0	0	0
	271人						
	0						
かるがも☆こころのリズム教室	乳幼児と保護者	110,000	110,000	0	110,000	0	0
	158人						
	0						
ミニデイ	高齢者	71,026	838	70,188	0	71,026	0
	263人						
	600						
子ども寺子屋	小学生	0	0	0	0	0	0
	294人						
	0						
リンパマッサージ&ストレッチ	地域住民	42,447	11,547	30,900	38,975	0	3,472
	108人						
	300						
ボランティア感謝会&交流会	ボランティア	24,693	24,693	0	0	24,693	0
	79人						
	0						
横浜市星川地域ケアプラザ 貸室登録団体利用説明会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	45団体45人						
	0						
夏だ！プールに行こう！	乳幼児と保護者	4,480	780	3,700	0	0	4,480
	169人						
	50						
ほっとフレンズ2016夏 ボランティア研修・説明会と 夏祭り(フレンドサポート事業 より支出)*1	障がい児	0	0	0	0	0	0
	60人						
	500						
親子deクリスマス!!	乳幼児	10,225	225	10,000	0	10,225	0
	43人						
	600						
サロンほしかわ クリスマス交 流会	地域住民	10,789	789	10,000	0	10,789	0
	21人						
	500						

平成28年度 自主事業収支報告書

ほっしいーのわいわいフェスティバル	地域住民							
	1800人							
	50～200	250,347	128,757	121,590	0	250,347	0	
『出張サンタ～サンタが街にやってくる！？～』	乳幼児と保護者							
	55人							
	0	194	194	0	0	194	0	
ほどがや区民まつり地域活動交流ブース	地域住民							
	450人							
	0	0	0	0	0	0	0	
岩間地区福祉のつどい「ミニ運動会」	地域住民							
	350人							
	0	0	0	0	0	0	0	
本・おもちゃの貸し出し	地域住民							
	41人							
	0	0	0	0	0	0	0	
中央地区配食ボランティアの後方支援*2	高齢者							
	641人							
	300	0	0	0	0	0	0	
包丁研ぎ個人講座	地域住民							
	93人							
	0	0	0	0	0	0	0	
シニアボランティアポイント登録研修会	地域住民							
	33人							
	0	0	0	0	0	0	0	
ネーブルの会～みんなで認知症を考える会～	地域住民							
	102人							
	0	0	0	0	0	0	0	
親子でフラダンスpart2	障がい児							
	23人							
	200	2,199	1,199	1,000	0	1,079	1,120	
調理室清掃・ボランティア大作戦！！	貸室調理室利用団体							
	19人							
	0	7,573	7,573	0	0	7,573	0	
ほどがやウォーク～地元を歩こう	地域住民							
	53人							
	50～200	9,680	4,080	5,600	8,000	0	1,680	
ほっとフレンズ2017春*1	障がい児							
	61人							
	500	0	0	0	0	0	0	
鬼の出張	乳幼児と保護者							
	26人							
	0	0	0	0	0	0	0	
グリーンカーテンを作ろう	地域住民							
	5人							
	0	7,320	7,320	0	0	7,320	0	
親子で健康クッキング	乳幼児と保護者							
	19人							
	500	10,274	4,774	5,500	0	10,274	0	

平成28年度 自主事業収支報告書

かるがも体操教室	高齢者						
	171人						
	100	30,160	14,560	15,600	24,000	0	6,160
ネーブル倶楽部	地域住民						
	99人						
	100	0	0	0	0	0	0
ひな祭りのアレンジメントを楽しもう*2	地域住民						
	24人						
	1,000	0	0	0	0	0	0
親子でドラムを叩こう～音楽で心と身体を動かそう～*1	障がい児						
	26人						
	200	0	0	0	0	0	0
施設利用マニュアル変更に伴う貸室登録団体利用説明会	地域住民						
	59団体59人						
	0	0	0	0	0	0	0
認知症サポーター養成講座	地域住民						
	306人						
	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブ PCYクラブ 出前講座	地域住民						
	68人						
	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブ明寿会 出前講座	地域住民						
	67人						
	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブ星松会 出前講座	地域住民						
	19人						
	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブ寿クラブ 出前講座	地域住民						
	48人						
	0	0	0	0	0	0	0
老人クラブさくら会 出前講座	地域住民						
	27人						
	0	0	0	0	0	0	0
峰岡町2丁目老人クラブ 出前講座	地域住民						
	76人						
	0	0	0	0	0	0	0
川辺町住宅みんなの体操	地域住民						
	75人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川2丁目サロン星の和	地域住民						
	32人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川地区見守り連携連絡会	地域住民						
	78人						
	0	0	0	0	0	0	0
ホッとする会	介護者						
	10人						
	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度 自主事業収支報告書

男性介護者のつどい	介護者						
	25人						
	400	1,616	16	1,600	0	1,616	0
介護者支援講座	地域住民						
	21人						
	150	2,974	2,374	600	0	2,974	0
川辺町ほっと倶楽部	地域住民						
	74人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川一丁目 ひまわりの会 出前講座	地域住民						
	246人						
	0	0	0	0	0	0	0
介護予防教室	地域住民						
	110人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町 介護予防教室	地域住民						
	39人						
	0	0	0	0	0	0	0
メイクアップdeいきいき生活	地域住民						
	22人						
	0	0	0	0	0	0	0
ステッキ体操deはつらつ生活	地域住民						
	6人						
	0	0	0	0	0	0	0
ノルディックウォーキング始め方講座	地域住民						
	12人						
	0	0	0	0	0	0	0
ダンディーズ体力測定会	地域住民						
	29人						
	0	0	0	0	0	0	0
明神台サロンひだまり	地域住民						
	159人						
	0	0	0	0	0	0	0
天王町さらしシニア塾	地域住民						
	56人						
	0	0	0	0	0	0	0
星川3丁目サロンはなみずき	地域住民						
	48人						
	0	0	0	0	0	0	0
明神台ひまわりクラブ	地域住民						
	9人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町 町内会敬老会	地域住民						
	31人						
	0	0	0	0	0	0	0
宮田町ラクラククラブ老人クラブ出前 講座	地域住民						
	37人						
	0	0	0	0	0	0	0
歌声ひろば 12回	地域住民						
	474人						
	100	46,933	467	47,400	0	10,933	36,000
歌声ひろば2	地域住民						
	21人						
	0	0	0	0	0	0	0
社交ダンスde介護予防	地域住民						
	33人						
	150	7,400	2,450	4,950	5,720		1,680
女性団体協議会向け 認知症サポーター養成講座	地域住民						
	9人						
	0	0	0	0	0	0	0
区内病院認知症講座	地域住民						
	70人						
	0	0	0	0	0	0	0
コンフォール明神台2号棟自 治会敬老会 出前講座	地域住民						
	22人						
	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度 自主事業収支報告書

宮田町町内会婦人会 出前講座	地域住民						
	33人	0	0	0	0	0	0
ほどかや区民まつり介護予 防ブース	地域住民						
	200人	0	0	0	0	0	0
老人クラブ 星寿クラブ 出前講座	地域住民						
	50人	0	0	0	0	0	0

平成28年度 自主事業報告書

横浜市星川地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロンほしかわ	<p>【目的】 地域の子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象とし、閉じこもり防止を目的に、仲間作り、生きがい作りの提供を行う。異世代交流の場とすることで、趣味を通じた仲間作りをすすめ、地域の助け合いの輪がひろがるよう、地域ケアプラザの機能を発揮する。</p> <p>【内容】 コーナーを設けて、カラオケ・川柳・習字・ちぎり絵・折り紙等を実施。</p>	毎週火曜日 (お盆、年末年始、 第5週を除く) 全43回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア体操	<p>【目的】 地域のシニア世代を対象とし、在宅生活を健康で過ごすための介護予防として、体操教室を実施している。</p> <p>【内容】 転倒骨折予防教室OB と共催で体操教室を開催し、第1・3(火)は三期会、第2・4(火)はハッピー会が運営し、セラバンド・ボール運動や「はまちゃん体操」、「チューリップ体操」等を実施。</p>	毎週火曜日 (お盆、年末年始、 第5週を除く) 全45回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て広場	<p>【目的】 未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施する。育児におかれる様々な専門機関と連携し、身近な子育て情報の提供を行い、育児不安の軽減を図る。また、地域の身近な場所でおばあちゃん世代のボランティアに参加してもらうことで、世代を超えた交流の場を作り、今後において地域活動へ参加するきっかけとなる場、地域福祉に関心をもつきっかけとなる場を提供することを目的とする。</p> <p>【内容】 布おもちゃ製作ボランティアグループ「ちくちく」の手作りおもちゃを活用した親子のつどいの広場。毎回テーマを設け、貸室団体や子育て支援連絡会等地域ボランティアと連携したプログラムを実施した。</p>	毎月第3金曜日 (8月12月休み) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かるがも☆ こころの リズム教室	<p>【目的】 子どもの発達に不安のある保護者の育児支援。音や音楽を通して、子どもの5つの感覚の発達を促す。遊びを通して、子どもとの向き合い方を学ぶ。</p> <p>【内容】 特別支援教育士による音と音楽遊びと子育て相談を実施した。子どもの発達に不安を持った保護者が、個別具体的に相談できる機会として、また同じ悩みを持った保護者が交流できるよい機会となった。</p>	毎月第1金曜日 (1月休み) 全11回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ミニデイ	<p>【目的】要支援・要介護者になる前の高齢者を対象として、外出の機会を設け、お互いの交流の場とし、仲間づくりを支援。</p> <p>【内容】楽器演奏や絵手紙など貸室登録団体の特技を生かしたレクリエーションと、ヘルスメイト手作りによる健康に留意した食事を楽しんだ。ケアプラザからは、時宜に応じて、健康づくりや消費生活情報等を提供した。</p>	毎月第4水曜日 (8月12月を除く) 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子ども寺子屋	<p>【目的】地域のシニアボランティアの協力により、異世代交流とともに、地域の歴史や文化に親しむ機会を作り、他者へのおもいやりの心を育てていく。はまっこふれあいスクールでも、学童クラブでもない、小学生の放課後の居場所。地域の大人と一緒に子どもたちを育てるネットワークを作り、地域コミュニティの活性化につなげる。</p> <p>【内容】学校の宿題のあと、シニアボランティアを初めとした地域の人材を活用しての異世代交流を実施。昔遊びや川柳、オリジナルかるた作り、2回ペランダの野菜の世話など、ボランティアの特技を生かした活動を行った。</p>	毎月2～3回程度の 水曜日 全27回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リンパ マッサージ &ストレッチ	<p>【目的】在宅生活を健康にすごしていくために、体操教室を実施する。地域の高齢者に外出の機会を提供、閉じこもりを予防し、また更年期などで体の変調に不安を感じている中高年、子育て中の母親など、広く地域住民を対象とする。</p> <p>【内容】講師による全身の血流をよくするためのリンパマッサージの指導の他、ストレッチを実施して介護予防、健康作りにつなげた。</p>	6月10日(金) 9月9日(金) 10月14日(金) 1月28日(土) 3月10日(金) 全5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会 &交流会	<p>【目的】星川地域ケアプラザで活動している多くのボランティアに感謝の意を表するとともに、他のボランティアと交流することで、情報交換や出会いの場を提供し、活動に広がりを持ったり、悩みの共有や問題解決の助けとする。</p> <p>【内容】個人と団体にわけて実施。前半を活動紹介(スライドで活動紹介と、参加者による自己紹介)、後半を活動披露の時間として、参加者がくつろいでいただける内容とした。</p>	3月30日(木) 午前/午後 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室登録団体 利用説明会 &交流会	<p>【目的】日頃から横浜市星川地域ケアプラザの貸室を利用している方に、地域ケアプラザの貸室ルールや意見交換の場として実施。今回の交流会をきっかけにニーズの把握や利用団体が福祉保健団体へ結び付けることができるように働きかける。</p> <p>【内容】ケアプラザにおける貸館の意味やボランティア活動について説明。顔の見える関係作り、それぞれの活動に社会的意味を再認識する内容で実施。後半はグループに分かれ、団体の活動紹介や、活動での気づき、困っていることなどを共有した。</p>	7月11日(月) 全1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏だ！ プールに 行こう！	<p>【目的】10ヶ月から3歳以下の未就学児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施。地域の身近な場所で日常的な交流の場を作り、緑のカーテンを作り、地域の親子にのびのびとプールを楽んでもらう。</p> <p>【内容】2階多目的ホール外のベランダにビニールプールを数か所設置し、プールを開催した。子ども寺子屋で育てたミニトマトの収穫もでき、緑とふれあう機会を提供できた。</p>	7月29日（金） 8月3日（水） 8月10日（水） 8月19日（金） 8月26日（金） 全5回
ほっと フレンズ 2016夏	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。</p> <p>③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>④関係諸学校及び団体と協力を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。</p>	7月30日（土） 8月7日（日） 全2回
親子de クリスマス！！	<p>【目的】未就園児とその保護者を対象とした子育て支援の一環として実施する。地域の身近な場所・日常的な交流の場で、定年後の男性グループの方や布おもちゃ製作グループちくちくと一体となったイベントを開催することで福祉活動の理解を図る。</p> <p>【内容】親子交流プログラム。ゲストによる絵本や音楽遊び、工作を楽しんだあと、男性ボランティアのサンタが登場し、ちくちく製作のプレゼントを配布、サンタとの写真撮影を実施。</p>	12月16日（金） 全1回
サロン ほしかわの クリスマス 交流会	<p>【目的】年の瀬に製作物の発表をし合うことで、1年間の活動をふりかえり、またどう発表するか話し合い計画することで、単なるお楽しみ会ではなく、参加者が主体的に関わり、互いの交流を深める機会を提供する。</p> <p>【内容】会場に各コーナーの作品を展示。それぞれ展示作品の紹介と、サロンの感想を述べあった。レクリエーションでゲームを楽しんだ後、参加者が作成したオリジナルのDVDを上映しながら、みんなで合唱した。</p>	12月22日（火） 全1回
ほっしいーの わいわい フェスティバル	<p>【目的】地域ケアプラザの機能理解を深く地域に浸透できる機会とし、横浜市在住の子どもから高齢者、障害者の支えあい、安心安全なまちづくりをテーマとしたイベント内容を積極的に取り入れる。その中で、子育て中の方やこれから子どもを持つとうとする方をはじめ、保土ヶ谷区民に区内の子育て・次世代育成支援の情報を提供することを目的の一つとして開催。</p> <p>【内容】かるがも駐車場で模擬店、資源循環局のミニゴカート、かるがも1階デイルームでコンサート、ラウンジでの福祉バザー、2階は、健康チェックコーナー、子育て支援連絡会主催による親子のひろば等を実施。</p>	11月20日（日） 全1回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
『出張サンタ～サンタが街にやってくる！？～』	<p>【目的】地域ケアプラザに関係する男性のボランティア活動として出張サンタクローズを実施。エリア内の子育て支援団体・サークルと連携し、横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】男性ボランティアによるサンタが、子育てグループのクリスマス会や、子育て支援施設に出張し、保護者の代わりにプレゼントを渡して、親子の思いで作りに貢献した。</p>	<p>12月15日（木） 24日（土）午前、午後 全3回</p>
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほどがや区民まつり地域活動交流ブース	<p>【目的】区民が多数来場する「区民まつり」に区内すべてのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】7ケアプラザ合同事業として、地域活動交流担当ケアプラザの紹介や住民との交流活動を実施。また介護予防ブースに区高齢障害支援課保健師、区内包括保健師職が合同で、健康づくり・介護予防の普及啓発として、パネル展示や事業紹介を行う。</p>	<p>10月15日（土） 全1回</p>
事業名	目的・内容等	実施時期・回数
岩間地区福祉のつどい「ミニ運動会」	<p>【目的】エリア内の地域イベントに横浜市星川地域ケアプラザが参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。</p> <p>【内容】岩間地区社会福祉協議会主催の事業・福祉のつどい実行委員会のメンバーとして参加。星川地区、岩間地区の住民を対象とした交流事業として運動会を実施。各種プログラムの他、ケアプラザからはブルーライトヨコハマ体操を提供した。</p>	<p>10月30日（日） 全1回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
本・おもちゃの貸し出し	<p>【目的】地域特性を考慮し、ニーズにあった事業を実施することで、ケアプラザの利用を促進する。</p> <p>【内容】星川地域ケアプラザ1階ラウンジに設けた本や布おもちゃの貸し出しを実施。</p>	<p>開館日</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
中央地区配食ボランティア	<p>【目的】「住民誰もが安心して暮らせるまち」「高齢になっても障害をもってもいきいきと過ごせるまち」を中央地区の福祉保健活動を実施している団体、グループ、個人等が共に考え、作り上げていく活動。そして、それぞれの活動の推進とともに、課題の共有から地域課題に向けて取り組み支えあいの地域づくりの発展を目指している。</p> <p>【内容】中央地区配食ボランティア主催による、月1回の手作り弁当を夕食に配達。ケアプラザは活動場所、周知、利用者の一部への電話かけを行い、活動を支援。</p>	<p>毎月第3水曜日 (8月休み) 全11回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
包丁研ぎ講座	<p>【目的】生活支援に取り組むボランティア団体の特技を生かした活動の一環として、地域の在宅高齢者の生活支援を実施。地域に定着するよう協力していく。</p> <p>【内容】地域の生活支援団体による包丁研ぎ講習。星川地域ケアプラザは活動への助言や実施場所の提供・連絡を担った。</p>	<p>6月18日（土） 9月17日（土） 12月17日（土） 3月18日（土） 全4回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア ボランティア ポイント 登録研修会	<p>【目的】地域の元気な高齢者に地域貢献活動の機会を提供し、いきがい・交流につなげ、共助の意識を高める。また、地域の福祉施設にシニアボランティアポイントの周知をし、ボランティア獲得の手段として活用してもらう。</p> <p>【内容】よこはまシニアボランティアポイントのテキストにそって、事業の概要、ボランティアについて、活動の留意点等講習。登録後の活動場所の提供として、近隣の保土ヶ谷区子育て支援拠点こっころやケアプラザデイサービス、地域交流事業について説明を行い、施設のボランティア登録にもつなげることができた。</p>	8月30日(木) 全1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ネーブルの会 ～みんなで認知 症を考える会	<p>【目的】認知症についての理解を深め、支援者を地域に広げていく。意識ある地域住民と連携し、認知症本人や家族を支える仕組みを構築していくための足がかりを目指す。</p> <p>【内容】認知症サポーター養成講座受講者有志によるサポーター活動実践の場。身近な地域での支えあいを目指して、「認知症介護を考える会」として座談会や見学会、話し合いをすすめている。横浜のへそを意識したネーブルオレンジを、認知症支援のオレンジカラーと重ね合わせ、「ネーブルの会」を立ち上げ、当事者家族を含めた居場所作りや啓発活動等実施。</p>	4月16日(土) 5月28日(土) 6月18日(土) 7月16日(土) 8月27日(土) 9月23日(金) 10月8日(土) 11月11日(金) 1月23日(月) 3月18日(土) 全10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で フラダンス part2	<p>【目的】① 普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。 ② 親子のふれあいの時間を楽しく過ごせ、親に対しても新たな出会いや趣味を楽しむ時間を提供する。 ③ 貸室団体（フラダンス）の特技を生かしたボランティア活動の機会を提供し、障がいの理解に努める。</p> <p>【内容】フラダンスの貸室団体協力による余暇支援。2回の講習のあと、希望者がほっしーのわいわいフェスティバルで発表した。</p>	10月22日(土) 11月12日(土) 全2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
調理室清掃・ボ ランティア大作 戦！！	<p>【目的】ケアプラザは地域の共有財産であるということの意識づけのきっかけにする。油污れや手垢など、通常の清掃では清潔を保つのが難しい調理室を、「みんなの施設みんなできれいに」を合言葉に、貸室利用団体の協力を募ってそうじすることで、施設利用の仕方や、関わりを意識してもらう。</p> <p>【内容】始めに自己紹介と作業内容の説明を行ったあと、調理室に移動して、大掃除実施。動線を加味し、グループごとに担当箇所を掃除してもらう。掃除のあとは、ふりかえり実施。貸し室の使い方の理解と共に互いの活動を知る交流のよい機会となっている。</p>	9月30日 3月4日(土) 全2回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほどがやウォー ク ～地元を 歩こう	<p>【目的】地域住民の健康意識、自分のからだへの関心を高めってもらう。ウォーキングをきっかけとした、励ましあう仲間作りを行う。</p> <p>【内容】「保土ヶ谷ウォーキングガイド」を活用。ウォーキングの基礎や効用を学び、自分のペースを大事にした、健康作りを意識してもらう。全3回。体育協会講師による指導と保健活動推進員協力による体力測定や地元保土ヶ谷公園へのルートを変えたウォーキングを実施。</p>	5月31日(火) 6月20日(月) 7月8日(金) 全3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっと フレンズ 2017春	<p>【目的】</p> <p>①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。</p> <p>②障がい児にとって普段係わる機会の少ない、同年代の学生ボランティアと一緒に活動するという経験を通じて、社会性・協調性を育む場を提供する。</p> <p>③障がい理解のある地域のボランティア・学生ボランティアの育成を図る。</p> <p>④関係諸学校及び団体と協力関係を深め、区内の地域ケアプラザが、障がい児支援における地域ネットワークの一員となるように断続的に努める。</p> <p>本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々に障がい福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。</p> <p>【内容】ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。保土ヶ谷区内に在住・在学の養護学校の小学生～高校生を対象に室内プログラムの余暇支援を実施。事前にボランティア説明を設け、障がいの理解を深め、当日ペアとなる子どもの情報を共有した。当日は、横浜市川島地域ケアプラザを会場にお祭りを実施し、各種プログラムを楽しんでもらった。</p>	3月24日（金） 3月26日（日） 全2回
鬼の出張	<p>【目的】地域ケアプラザに登録する男性ボランティアが鬼に扮し、施設外ボランティアで節分イベントに協力します。当施設の機能理解を図ることや男性の社会参加の場を提供することで地域活動の活性化を図ります。</p> <p>【内容】男性ボランティアによる鬼の出張。「鬼は外！」と大きな声を出し、体を使っての遊びが提供できた。サンタに比べて泣かれる率の高い出張だが、子どもたちの触れ合いを楽しむ機会となっている。</p>	2月6日（月） 全1回
グリーン カーテンを 作ろう	<p>【目的】地域住民との連携。ケアプラザと住民が協働して園芸作業を行い、得意分野を生かした地域貢献の場を提供する。緑のカーテンを設けることで、子育て支援事業の一環として7、8月に実施するプール開催時の日よけとする。またプールや寺子屋の参加者に緑のふれあいの機会を提供し、店頭に並んだ野菜しか知らない若い親子の食育の効果を図る。</p> <p>【内容】2階のベランダを活用して、グリーンネットをとりつけ、野菜や花を育て、日よけを作る。事業参加者と草</p>	4月25日（月） 10月31日（月） 全2回
親子で健康クッキング	<p>【目的】子どもの健やかな成長を支援、母親の育児不安軽減のための子育て支援とともに、地域の仲間作りをすすめる。また、薬膳料理の会である貸室団体「くこの会」と連携することで、子育て支援、絵世代交流を図り、団体の特技を生かした社会貢献活動を支援する。</p> <p>【内容】野菜の効用について簡単な講義、グループに分け、クッキングの体験実習、食に関するお悩み相談・質疑応答等実施。</p>	4月28日（木） 全1回
かるがも体操教室	<p>【目的】地域の高齢者を対象に、自らの健康作りに意欲的に取り組み、介護予防につなげる。新しい交流の機会の提供。</p> <p>【内容】地域のスポーツ施設、メガロス協力による、高齢者対象の座ってできる体操教室。筋力をつけ、転倒防止・介護予防につなげ、継続して健康作りをサポートする定期的な体操教室。</p>	6月から第1木曜日 全8回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ネーブル倶楽部	<p>【目的】年をとっても認知症になっても、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けていける環境作りの一環として、地域住民と連携した認知症カフェを開催する。</p> <p>【内容】認知症当事者が気軽に参加でき、家族もほっとできる場にしたいと、レクリエーションで体と心をほぐし、お茶を飲みながらスタッフを交え、参加者と交流。最後に参加者が用意した歌をみんなで合唱している。交流を楽しむだけでなく、認知症についてのミニ知識を提供したり、困りごとの相談にも寄り、地域での支えあう居場所。</p>	10月8日(土) 12月9日(金) 2月10日(金) 全3回
ひな祭りのアレンジメントを楽しもう	<p>【目的】貸室団体の活動の支援。園芸を使った多世代交流によって、子育て支援につなげる。</p> <p>【内容】ひな祭りをテーマにフラワーアレンジメントを実施。シニア世代は、赤ちゃんの声を聞くのは久しぶりと好意的に受け止めていた。子育て世代同様、普段やれないことに取り組めたと、できた作品を前に満足げな表情であった。</p>	2月16日(木) 全1回
親子でドラムを叩こう～音楽で心と身体を動かそう～	<p>【目的】①普段は、学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、新たな出会いの場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供する。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。</p> <p>③関係諸学校及び関係諸団体の協力関係を深め、障がい児の支援における地域ネットワークの一員となれるように継続的に努める。</p> <p>④本事業の周知や報告、及び地域のボランティアを募集する事で、障がい福祉に対する理解をより深めてもらう一つの機会とする。</p> <p>【内容】超音楽のお遊び集団じゃねんずを講師に招き、親子でドラム等の楽器演奏とダンスを楽しむ機会を提供。1部がドラムワークで、お茶会で交流後、2部がダンスワークを実施。親子が一緒に楽しむことで親が子どもの成長を確認できた。また、親もストレス発散をして喜んでいった。1/22地区センターで実施。</p>	1月22日(日) 全1回
施設利用マニュアル変更に伴う貸室登録団体利用説明会	<p>【目的】横浜市地域ケアプラザ施設使用及び目的外使用に関する要綱等の改正に伴い、登録団体へ施設利用に関し、変更の周知を図り、利用目的の確認を行い、地域福祉の発展に寄与する活動理解を行う。</p> <p>【内容】ケアプラザの利用が平成29年度より変更することについて、具体的な内容をパワーポイントと横浜市作成の施設利用案内をもとに説明。同時にケアプラザにおける貸館の意味やボランティア活動について改めて理解を求めた。全市的な変更について、最初に区役所の担当者から説明してもらった。また現C団体には、福祉保健活動の記録について説明し、H28年の活動記録用紙を配布した。</p>	12月5日(月) 全1回
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を応援し、だれもが暮らしやすい地域をつくっていけるよう講座を開催する。</p> <p>【内容】ケアプラザ内外にて講座を実施。認知症の種類、症状、行動、認知症の人の気持ちと接し方、サポーターの役割等を伝え、認知症の理解を広げ地域啓発を行った。キャラバンメイトによる寸劇など、地域住民との連携の機会ともなった。</p>	8月27日(日) 9月24日(土) 9月26日(月) 10月7日(金) 12月12日(月) 全5回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
老人クラブ P C Yクラブ 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>10月1日（土） 3月4日（土） 全2回</p>
老人クラブ 明寿会 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>10月19日（水） 11月16日（水） 全2回</p>
老人クラブ 星松会 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>10月25日（火） 全1回</p>
老人クラブ 寿クラブ 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>10月21日（木） 全1回</p>
老人クラブ さくら会 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>11月10日（木） 全1回</p>
峰岡町2丁目 老人クラブ 出前講座	<p>【目的】ケアプラザ機能説明をし、早期から関わりが持てるよう顔の見える関係作りを構築すること。又、健康づくりや介護予防の意識を持ち、取り組みができるよう支援すること。</p> <p>【内容】生活支援体制整備事業の説明をし、介護予防や生活支援の取り組み継続や発展についての説明、仕組み作りなどのネットワーク構築について説明し、意識啓発の働きかけを行った。</p>	<p>11月16日（水） 全1回</p>

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川辺町住宅 みんなの体操	<p>【目的】住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が見守り・支え合いの場に拡大していくような地域づくりを推進すること。又、要介護・要支援状態となっても生きがいや役割を持って生活できる地域づくりを推進すること。</p> <p>【内容】身近な通いの場として定着できるよう内容の企画や運営の支援をした。又、参加者の介護予防や健康づくり、いきがい作りが継続できるよう支援をした。</p>	1月～3月の 第2・第4（木） 全6回
星川2丁目 サロン 星の和	<p>【目的】住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が見守り・支え合いの場に拡大していくような地域づくりを推進すること。又、要介護・要支援状態となっても生きがいや役割を持って生活できる地域づくりを推進すること。</p> <p>【内容】身近な通いの場として定着できるよう内容の企画や運営の支援をした。参加者の介護予防や健康づくり、いきがい作りが継続できるよう支援をした。</p>	1月～3月の 第3（土） 全3回
星川地区 見守り 連携連絡会	<p>【目的】星川地区で様々な地域活動をしている住民と見守りや支え合いの活動や仕組み作りについて、協議する場を設定し、継続や発展につなげていくこと。</p> <p>【内容】見守りや支え合いのネットワーク作りの大切さ、身近な居場所作りの推進は支え合いにつながることで、高齢者の生きがい作りや社会参加への取組推進の必要性について共有した。又、住民主体でできる仕組み作りを進めていくための意見交換を実施した。</p>	2月22日（水） 3月1日（水） 全2回
ホッとする会	<p>【目的】介護者という同じ立場同士でできる日頃の悩みや想いを共有する場作り。リラックスした雰囲気や気心知れた仲間と話をすることで、ストレスや介護負担の軽減を図ることを目的に開催。</p> <p>【内容】かるがも1階喫茶クレヨンやケアプラザ館内で茶話会を実施。近況を話す中で悩みや想いを受け止め労う会となった。また、参加者自身の体験から、お互いに情報交換する場となった。</p>	4月26日（火） 6月28日（火） 8月27日（土） 10月22日（土） 12月17日（土） 全5回
男性介護者の つどい	<p>【目的】男性介護者が同じ立場の方同士で交流をもつ事で、介護に関する悩みの共有や、前向きに介護ができる様に情報交換。日頃の介護ストレスを解消できる機会を目的に開催。</p> <p>【内容】</p> <p>1回目：認知症の理解と認知症予防について 2回目：薬の基礎知識と薬の使い方について 3回目：体組成計や体力チェック及び懇談会 4回目：インフルエンザやノロウイルスについて 5回目：調理実習と会食</p>	5月25日（水） 7月27日（水） 9月28日（水） 1月25日（水） 3月29日（水） 全5回
介護者 支援講座	<p>【目的】介護者や介護に興味がある方を対象に、介護技術など勉強の機会を設ける事を目的に開催。</p> <p>【内容】以下の内容で、3回開催した。1回目：介護技術について、2回目：簡単レンジ調理法、3回目：住環境整備について。</p>	9月24日（土） 10月23日（日） 11月26日（土） 全3回

平成28年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川辺町 ほっと倶楽部	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知し、認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組みとして(体操、体力測定、歌を歌う、脳トレ、手遊び等)を行った。権利擁護に関する情報提供として最近の葬式・お墓事情についての情報提供を行った。</p>	5月31日(火) 7月26日(火) 10月25日(火) 11月29日(火) 1月31日(火) 3月28日(火) 全6回
星川一丁目 ひまわりの会 出前講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知する。認知症や高齢者の権利擁護に関する情報提供を行う。活動団体が活動を継続できるように支援していく。</p> <p>【内容】介護予防に関する取り組みを活動団体と共に企画した。介護予防とし(体操、体力測定、歌を歌う、脳トレ、手遊び等)を行った。消費者被害の注意啓発等権利擁護に関する情報提供を行った。</p>	4月6日(水) 5月4日(水) 7月6日(水) 9月7日(水) 10月5日(水) 11月2日(水) 2月1日(水) 3月1日(水) 全8回
介護予防教室	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知した。</p> <p>【内容】ロコモ度チェックとロコモティブシンドローム予防と体操・口腔ケア・栄養改善について講師による講義を行った。星川2丁目にて全4回・川辺町市営第一住宅にて全4回で実施</p>	星川2丁目 (水) 9月28日・10月26日 11月30日・12月14日 川辺町市営第一住宅 (木) 9月29日・10月27日 11月30日・12月22日
宮田町 介護予防教室	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知した。</p> <p>【内容】口腔ケア・栄養改善について講師による講義を行った。</p>	1月17日(火) 3月14日(火) 全2回
メイクアップ deいきいき生 活	<p>【目的】いきいきとした生活を送る事、閉じこもり予防を図る事を予防した。参加者同士の交流を図った。</p> <p>【内容】資生堂講師3名による、毎日の肌のお手入れや化粧について、心と体と脳の健康維持に役立つ事の説明やメイク落としメイクアップの実践を行った。途中男性については、頭皮のお手入れの実践も行った。</p>	10月20日(木) 全1回
ステッキ体操 deはつらつ 生活	<p>【目的】地域の高齢者に対して足の機能や役割について学び、閉じこもり予防と参加者間の交流を図った。</p> <p>【内容】フットラボ横浜の講師より地域の高齢者に対して足の機能や役割について学び、その後ステッキ体操をして、体力の向上を図った。</p>	3月18日(土) 全1回
ノルディック ウォーキング 始め方講座	<p>【目的】地域高齢者に対して、健康増進や介護予防の必要性を周知し、閉じこもりと交流を図った。</p> <p>【内容】ノルディックウォーキングの効果、ポールの基本的な使ったの歩き方やストレッチを実践をして学んだ。星川ノルディックのグループ紹介をした。</p>	3月25日(土) 全1回